

ナスの栽培

色もつややかな夏野菜のナスは、数本も植えておけば、長期間連続して収穫ができます。高温を好み（20～30℃）ですが乾燥に弱く、多くの肥料を必要とします。アブラムシやハダニ等の被害も多いので、こまめな手入れが必要です。連作に弱いので3年以上休ませましょう。

作型と品種

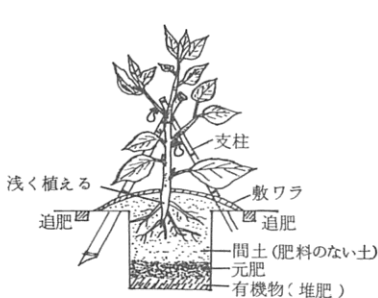
	5月	6	7	8	9	10	主な品種
暖地	〒〒		■		■		千両、長者、 中長、橘真、 博多長 など
高冷地	〒	〒		■			

品種は、長ナス、丸ナス、中長ナスに分けられる

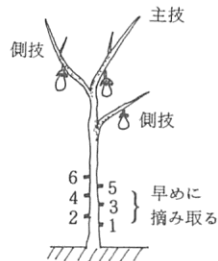
〒=定植 ■=収穫

栽培のポイント

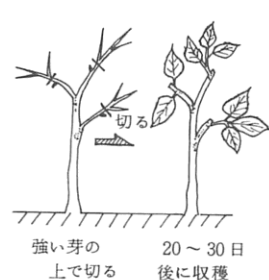
1. 定植は5月上中旬頃、地温が15℃以上になった頃が適期です。
2. 苗を購入するときは、本葉5～6枚で根張りが良く全体がしまったものを求めます。
3. 植え付け前に1㎡あたり100gの石灰を施し、よく耕してから直径・深さとも25cmくらいの穴を掘り、元肥として鶏フンや油粕2kg、熔リン30g、化成肥料を30g入れて土とよく混ぜておきます。
4. 植え付けに際しては、深植えとならないように浅めに植えます。
5. 株の間隔は60cmぐらい離し、しっかりした支柱を立てます。
6. 多肥を要するので2週間目くらいから追肥を行い、期間中肥料切れさせないようにします。
7. 放任しておくとも枝が混むので整枝して三本仕立とします。
8. 乾燥に弱いので、敷ワラをし灌水を十分行います。
9. 夏生育が衰えたら、主枝や側枝の元から約 $\frac{1}{3}$ を残して更新剪定をします（7月末～8月初）。追肥を続ければ20～30日で秋ナスが収穫できます。
10. 病害虫の防除は生育初期から十分に行って下さい。



植え付け



三本仕立て



更新剪定



青森市植物公園